

2021年11月25日

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントルシア）
カストリーズごみ収集車再利用計画に関する引渡式

11月25日、セントルシアのインフラ・港湾・交通・国土開発・都市再開発省で、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力であるカストリーズごみ収集車再利用計画の引渡式が行われました。セントルシア廃棄物管理公社は、日本政府の供与80,041米ドルの無償資金を利用し、日本外交協会からごみ収集車3台を調達しました。

本式典には、平山大使、エドワード教育・持続可能な開発・革新・科学・技術・職業訓練大臣、モントウート・セントルシア廃棄物管理公社理事長、レスフロイス同事務局長、殿川JICAセントルシア事務所長、教育省、インフラ省、外務省等が出席しました。

平山大使は挨拶の中で、昨年1月に署名した本件の引渡式に出席でき光栄、島嶼国にとって廃棄物管理は重要であり、今回のごみ収集車3台が大きな効果を上げること、ごみの収集、リサイクル等に対する市民の意識改革が図られることを期待すると述べ、日本は当国への専門家派遣及び当国廃棄物管理公社に協力隊員を派遣する予定である、セントルシアへの青年海外協力隊員派遣は20周年を迎え、これまで250人が地元地域社会と協力してきた、これら隊員の活躍も両国関係強化に貢献していると紹介しました。

エドワード大臣は、廃棄物管理は国家開発にとって極めて重要なものである、両国は長期にわたる友好関係を維持し、これまでの水産分野での支援やJICAによる技術協力は重要なものである、供与された収集車は、様々な地域で機動的に使うことができ、住民の生活に貢献する、日本に深く感謝すると述べました。また、モントウート・セントルシア廃棄物管理公社理事長は、この収集車を長期にわたって目的に沿って活用することを約束する、当国の廃棄物管理能力を更なる高みに引き上げるものであり、支援に心から感謝すると述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp





平山達夫大使によるスピーチ



エドワード大臣によるスピーチ



ごみ収集車の鍵の引き渡し



左から、殿川 JICA 所長、レスフロイス SLSWMA 事務局長、平山大使、エドワード大臣、モントウート SLSWMA 理事長、ダルサン SLSWMA 部長)



供与されたごみ収集車

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

